

平成 30 年 11 月 2 日
株式会社日本政策金融公庫**平成29年農業者決算 畑作、茶、養豚が増収増益**

～平成29年農業経営動向分析結果～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、每期のお取引先の農業者の決算データを集計し、農業の経営動向を分析しています。

平成 29 年の決算データ（対象 5,467 先）を分析した結果、前年に比べ販売価格が上昇した「畑作」「茶」「養豚」などの業種で増収増益となったことがわかりました。

<調査結果のポイント>

○ [耕種] 北海道畑作が前年の台風被害から回復、茶は2年連続で好調を維持

北海道畑作は、台風の影響を受けた平成 28 年に比して生産量や販売価格が回復したことなどから、増収増益となりました。

茶は、長らく販売価格が低迷していましたが、需給バランスが改善されたことから、近年は販売単価が上昇に転じており、前年に引き続き、29 年も増収増益となりました。

なお、経営者数が最も多い稲作は、29 年の作況指数が「100」と平年並みだったことなどから、個人（北海道・都府県）・法人ともに前年並みとなりました。

○ [畜産] 養豚は相場高が寄与、酪農・肉用牛肥育は減益

養豚は、29 年の豚肉販売価格が前年を上回る水準で推移したことなどから、個人・法人とも 1 割弱の増収、3 割以上の増益となりました。

酪農は、29 年の総合乳価が微増に止まったことから、個人・法人とも売上高は前年と同水準でしたが、初妊牛の外部導入割合が比較的高い都府県の酪農経営では、初妊牛価格高騰などの影響により、減益となりました。

肉用牛肥育は、牛肉の販売価格が前年から高止まりしており、売上高は前年と同水準となりました。一方で、期中に出荷された肉牛の素牛（仕入）価格が高騰していたことから、個人・法人ともに減益となっています。

分析対象先：農業を営む日本公庫のご融資先のうち 5,467 先（個人 3,889 先、法人 1,578 先）
対象経営部門（農業収入の第 1 位部門で区分）

①耕種 8 部門：稲作、北海道畑作、果樹、露地野菜、施設野菜、施設花き、茶、きのこ

②畜産 5 部門：酪農、肉用牛肥育、養豚、採卵鶏、ブロイラー

対象決算期：平成 27 年～29 年までの 3 か年を経年比較

法人は各年 12 月～翌年 3 月が決算期のもの

売上と所得・利益の対前年比較(平成29年農業経営動向分析)

業種		個人経営			法人経営			概要
		サンプル数	売上高	農家所得(専従者給与控除前)	サンプル数	売上高	経常利益	
耕種	稲作	北海道	61 → 3.8%	→ 百万円未満	688	→	→	・個人について、北海道は米価上昇・収量増加も、同水準で費用も嵩んだことから売上・利益ともに前年並。都府県は東北・北陸・関東の収量が微減も米価が1割程度高く推移したことから売上・利益ともに前年並。 ・法人について、個人同様、売上・利益ともに前年並。
		都府県	1,029 → 百万円未満	→ 百万円未満		→	→	
	北海道畑作		46 ↑↑ 20.5%	↑↑ 46.8%	44	↑↑ 10.2%	↑↑ 141.7%	・台風の影響により売上・利益が減少していた前年に比べ、生産量や販売価格が回復し、個人・法人ともに増収増益。
	果樹		210 ↑ 7.5%	→ 百万円未満	35	→ 百万円未満	→ 百万円未満	・個人について、販売価格上昇等を受け増収、利益は前年並。 ・法人について、売上・利益ともに前年並。
	露地野菜	北海道	73 ↑↑ 12.5%	↑ 12.9%	71	→	↓↓	・個人について、台風の影響により売上・利益が減少していた前年に比べ、生産量や販売価格が回復し、北海道は増収増益。都府県は売上・利益ともに前年並。 ・法人について、売上前年並も、労務費・人件費等増加により減益。
		都府県	333 → 百万円未満	→ 百万円未満		→	↓ -31.6%	
	施設野菜		708 → 百万円未満	↓ -15.6%	61	→ 1.5%	→ 百万円未満	・個人について、販売価格が前年と同水準だったことを受け売上前年並も、燃料動力費等の費用増加により減益。 ・法人について、販売価格が前年と同水準だったことを受け売上・利益ともに前年並。
	施設花き		181 → 百万円未満	↓↓ -21.3%	23	→ 百万円未満	↑↑ 黒字転換	・個人について、売上前年並も、燃料動力費等の費用増加により減益。 ・法人について、売上前年並、材料費を始めとした費用削減により黒字転換。
	茶		90 ↑↑ 11.5%	↑↑ 33.3%	31	↑↑ 13.1%	↑↑ 83.3%	・個人・法人ともに販売価格上昇に伴い増収増益。
きのこ		12 ↓ -8.6%	↓↓ -22.6%	14	→ 1.9%	↓↓ -39.4%	・個人について、一部品目の販売価格下落や生産量減少により減収減益。 ・法人について、売上前年並(微増)も、労務費・人件費等の増加により減益。	

・前年比(売上高) ↑↑ 10%超増 ↑ 5~10%増 → ±5%未満増減 ↓ 5~10%減 ↓↓ 10%超減

・前年比(所得・利益) ↑↑ 20%超増 ↑ 10~20%増 → ±10%未満増減 ↓ 10~20%減 ↓↓ 20%超減

注:(所得・利益の場合) ↑↑ 黒字転換 ↓↓ 赤字転落 ↑ 赤字幅縮小 ↓ 赤字幅拡大

ただし、増減幅が百万円未満の場合は上記にかかわらず → とした

売上と所得・利益の対前年比較(平成29年農業経営動向分析)

業種		個人経営			法人経営			概要	
		サンプル数	売上高	農家所得(専従者給与控除前)	サンプル数	売上高	経常利益		
畜産	酪農	北海道	57	→ 3.1%	→ 百万円未満	96	→ 3.7%	↓ -17.0%	・個人について、総合乳価は微増に止まったことにより北海道は売上・利益ともに前年並。都府県について初妊牛価格高騰等の費用増加により、減益。 ・法人について、個人同様、総合乳価は微増に止まったことにより、北海道・都府県ともに売上前年並、利益は都府県について初妊牛価格高騰等の費用増加により、減益。
		都府県	584	→ 百万円未満	↓ -10.2%	136	→ 0.9%	↓↓ -31.3%	
	肉用牛肥育		367	→ -3.1%	↓↓ -54.8%	97	→ -3.0%	↓↓ -87.6%	・個人・法人ともに平成29年中の牛肉販売価格が高止まりし、売上は売上前年並(微減)、棚卸高上昇により増益だった前年に比べ、29年は素牛価格も落ち着き棚卸高の大幅な動きも見られなかったことから、個人・法人ともに減益。
	養豚		98	↑ 6.9%	↑↑ 33.5%	173	↑ 6.5%	↑↑ 44.6%	・29年の豚肉販売価格が前年を上回る価格で推移したため、個人・法人とも1割弱の増収、3割以上の増益。
	採卵鶏		22	→ 2.1%	↓ -14.2%	91	→ 0.6%	↓ -12.3%	・個人・法人ともに卵の販売価格が前年と同水準だったため売上前年並(微増)も、労務費・人件費の増加等により減益。
	ブロイラー		18	→ -4.8%	↓ -17.6%	18	→ 1.3%	↑↑ 36.1%	・個人について、売上前年並(微減)も、労務費・人件費の増加等により減益。 ・法人について、売上前年並(微増)、販売管理費等の減少により増益。

・前年比(売上高) ↑↑ 10%超増 ↑ 5~10%増 → ±5%未満増減 ↓ 5~10%減 ↓↓ 10%超減
 ・前年比(所得・利益) ↑↑ 20%超増 ↑ 10~20%増 → ±10%未満増減 ↓ 10~20%減 ↓↓ 20%超減
 注:(所得・利益の場合) ↑↑ 黒字転換 ↓↓ 赤字転落 ↑ 赤字幅縮小 ↓ 赤字幅拡大

ただし、増減幅が百万円未満の場合は上記にかかわらず → とした

売上と所得・利益の対前年比較(平成29年農業経営動向分析)

個人経営												
業種		サンプル数	経営規模		売上高(百万円)			農家所得(専従者給与控除前)(百万円)				
			単位	28年 A	29年 B	28年 A	29年 B	増減率 ((B/A)-1)*100	28年 A	29年 B	増減率 ((B/A)-1)*100	
耕種	稲作	北海道	61	水稲作付面積(ha)	14.8	15.1	31.6	32.8	3.8%	9.3	9.9	百万円未満
		都府県	1,029		14.6	15.5	29.1	29.9	百万円未満	8.5	8.2	百万円未満
	北海道畑作		46	経営耕地面積(ha)	43.5	43.6	54.6	65.8	20.5%	14.1	20.7	46.8%
	果樹		210	第1位品目作付面積(ha)	2.3	2.4	17.3	18.6	7.5%	5.2	5.4	百万円未満
	露地野菜	北海道	73		10.8	10.5	45.5	51.2	12.5%	13.2	14.9	12.9%
		都府県	333	3.8	4.0	34.8	34.7	百万円未満	9.9	9.0	百万円未満	
	施設野菜		708	第1位品目栽培面積(千㎡)	5.7	6.0	37.2	37.7	百万円未満	10.9	9.2	-15.6%
	施設花き		181		6.0	6.3	42.4	41.5	百万円未満	9.4	7.4	-21.3%
茶		90	茶園面積(ha)	5.9	6.2	29.6	33.0	11.5%	6.0	8.0	33.3%	
きのこ		12	第1位品目収穫量(t)	41.4	43.0	31.4	28.7	-8.6%	5.3	4.1	-22.6%	
畜産	酪農	北海道	57	成牛頭数(頭)	87.5	87.9	102.1	105.3	3.1%	20.8	21.4	百万円未満
		都府県	584		67.5	68.2	84.0	84.7	百万円未満	13.7	12.3	-10.2%
	肉用牛肥育		367	飼養頭数(頭)	245.2	244.8	160.6	155.6	-3.1%	24.1	10.9	-54.8%
	養豚		98	繁殖雌豚頭数(頭)	152.0	151.9	117.6	125.7	6.9%	15.8	21.1	33.5%
	採卵鶏		22	飼養羽数(千羽)	33.3	33.3	113.7	116.1	2.1%	12.7	10.9	-14.2%
	ブロイラー		18		48.8	47.7	115.8	110.2	-4.8%	10.2	8.4	-17.6%

法人経営												
業種		サンプル数	経営規模		売上高(百万円)			経常利益(百万円)				
			単位	28年 A	29年 B	28年 A	29年 B	増減率 ((B/A)-1)*100	28年 A	29年 B	増減率 ((B/A)-1)*100	
耕種	稲作	688	水稲作付面積(ha)	29.9	30.6	62.8	62.4	百万円未満	8.9	8.3	百万円未満	
		北海道畑作		44	75.6	74.2	81.4	89.7	10.2%	4.8	11.6	141.7%
	果樹		35	第1位品目作付面積(ha)	7.6	7.6	97.2	97.0	百万円未満	2.3	1.6	百万円未満
	露地野菜	71	14.8		16.4	118.5	118.0	百万円未満	3.8	2.6	-31.6%	
		施設野菜		61	第1位品目栽培面積(千㎡)	17.6	17.3	126.1	128.0	1.5%	0.2	0.1
	施設花き		23	7.6		9.2	91.6	92.3	百万円未満	-0.2	0.9	黒字転換
	茶		31	茶園面積(ha)	22.8	24.3	137.8	155.8	13.1%	7.8	14.3	83.3%
	きのこ		14	第1位品目収穫量(t)	506.7	515.1	256.2	261.1	1.9%	24.1	14.6	-39.4%
畜産	酪農	96	成牛頭数(頭)	231.5	229.2	241.0	250.0	3.7%	25.9	21.5	-17.0%	
		都府県		136	196.9	200.1	264.0	266.4	0.9%	24.9	17.1	-31.3%
	肉用牛肥育		97	飼養頭数(頭)	1,437.3	1,482.0	905.5	878.6	-3.0%	90.2	11.2	-87.6%
	養豚		173	繁殖雌豚頭数(頭)	662.4	664.6	592.8	631.6	6.5%	45.5	65.8	44.6%
	採卵鶏		91	飼養羽数(千羽)	287.1	290.5	1075.9	1082.3	0.6%	66.9	58.7	-12.3%
	ブロイラー		18		545.8	556.4	2669.4	2705.4	1.3%	142.4	193.8	36.1%

注1)経営規模、売上高、農家所得及び経常利益は経営部門毎の平均値を記載

注2)増減率はラウンドの関係で数値が合わない場合がある